

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		農業水産課
	01	04	01	02	01	

政策
農林水産物の販売力強化

政策の内容

消費者ニーズを的確に把握し、マーケティング戦略を持った農業者を育成します。
6次産業化やブランド化による付加価値の向上や海外輸出等を含めた販路拡大のための支援、消費者に選ばれる安全・安心な農林水産物の販売力強化に努めます。
林業では、FSC森林認証を効果的に活用し、消費者の選択的購買を促すことで他地域材や外国産材との差別化を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
農林水産物の ブランド化	浜松産の農林水産物はブランドとして評価されていると感じますか。	3.22	3.22				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

本市の市町村別農業産出額は、近年増加を続け、全国でも上位を維持している。
さらなる発展のためには、他産地同一品目との差別化による付加価値の向上や、本市の多様な農林水産物の効果的な魅力発信による需要拡大を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	50,175				
決算	42,431				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	3.6				
会計年度任用職員	1.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
付加価値向上推進事業	1 農林漁業(1次産業)と工業(2次産業)、商業や観光業等(3次産業)が連携して取り組む、本市の地域資源を活用した新商品の開発・新サービスの提供等付加価値向上に資する取り組みを支援する。 2 農林水産業の強化、振興又は農山漁村の活性化に資する事業を支援する。	21,222
		18,679
海外販路拡大事業	海外の成長市場を開拓する取組を支援することで、本市の食の海外に向けた認知度向上につなげ、本市農林水産物等の販路拡大を図る。	13,676
		10,348
食と農の地域ブランド推進事業	1 湖西市と協働して、浜松・浜名湖地域の農林水産業の活性化につながる事業を実施する。 (1)大手航空会社と連携した地元食材活用事業 (2)浜松パワーフードパーク等、農林水産物の販売や体験事業の実施 (3)小学生向け食育体験プログラムを実施 (4)大阪・関西万博へのブース出展 2 浜松の食材を使用し、小学生を対象に料理人が指導するオンラインイベントを実施する。	15,277
		13,404

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
浜松市公式 Instagram「はま のう」投稿回数 (回)	「はまのう」への年間投 稿回数	定期的かつ有効的な情報を発 信することが、本市農林水産物 へ興味を持つことにつながる。	目標値	-	110	110	110	110	110
			実績値	203 (2023 年度)	159				
			達成率	-	145%				
浜松パワーフー ドイベント実施・ 参加数 (回)	主催イベントの実施回数 と他イベントへの参加回 数の合計	農林水産物及びその加工品PR の場を設けることで、事業者の 所得向上につなげる。	目標値	-	10	10	10	10	10
			実績値	12	15				
			達成率	-	150%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
浜松市公式 Instagram「はま のう」フォロワー 数 (人)	前年度末(3月31日)時 点のフォロワー数	フォロワーの増加は、さらなる情 報の拡大につながり、認知度向 上や販売力強化が図られる。	目標値	-	9,000	10,200	11,400	12,600	13,800
			実績値	9166	11,359				
			達成率	-	126%				
浜松パワーフー ド宣言・応援宣言 認定事業者数 (者)	前年度末(3月31日)時 点の登録事業者数	生産者から販売まで、本市農林 水産物を扱う事業者等の増加 は販売力の強化につながる。	目標値	-	1,350	1,400	1,450	1,500	1,550
			実績値	1287	1,271				
			達成率	-	94%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
市内の1農家当たり農業産 出額 (千円)	○	浜松市農業産出額／浜松 市農家数	実績値	3,091 (2022 年度)	2026年 8月確 定					4,300
			達成率	72%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山漁村振興が図られている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
付加価値向上推進事業	1 食と農林漁業の新たな事業創出・育成の助成 5件の提案があり、4件に助成した。 2 元気な農林水産業活動の助成 15件の提案があり、10件に助成した。	本市農林水産物とその加工品の付加価値の向上に資する事業を重点的に支援するため補助事業の見直しを図る。
海外販路拡大事業	1 台湾事業 台北市との友好交流協定締結に基づき、百貨店等10店舗にて浜松フェアを開催し、現地インフルエンサーを活用したPRを実施した。また、インポーターによる浜松市内産地視察を実施した。 2 タイ事業 バンコク市内の百貨店、市場の2店舗にて浜松フェアを開催し、鮮魚、次郎柿、リーフレタス等葉物野菜やうなぎもチップスを販売した。また現地小売店と商談を実施した。 3 ウズベキスタン事業 現地大手カフェチェーン等との商談会や日本食レストランでの浜松食材を使ったフェア、現地の大学にて日本茶フェアを開催した。 4 農林水産物・食品販路開拓事業費補助金 市内で生産される農林水産物、又はそれを主な原材料としている加工食品や飲料品の海外販路開拓・拡大を目指す者に対し、見本市等への出展に要する経費を助成する補助事業を実施したが、申請はなかった。	4 については、2025年度は海外で実施される各種展示商談会・見本市等を対象としていたが、2026年度から、日本国内で海外バイヤーを招聘して実施される展示商談会・見本市等も対象とすることで、輸出に取り組む事業者の支援を行う。
食と農の地域ブランド推進事業	1 浜松・浜名湖地域の食の魅力発信事業(浜松・浜名湖地域食×農プロジェクト推進協議会による実施) (1) 中部国際空港発JAL国際線における機内食を活用した地域食材プロモーション事業 ・2025年12月1日～2026年2月28日(3ヶ月)の中部発 ホノルル/台北/天津行等で、194便、延べ22,098名に提供した。 ・地域食材は公募し商談会には40者が参加、採用食材は浜名湖うなぎ、みっかび牛、三ヶ日みかんなど16者・26品目となった。 ・機内食提供の他、JAL広報媒体を活用した情報発信や機内食発表会・セレモニーの開催等により当地域の食の魅力をPRした。 (2) パワーフードパークやくふうはやてベンチャーズ静岡戦、新東名SA等で、農水産物の販売事業を実施。Instagram「はまのう」の周知活動をあわせて実施。 (3) 親子で楽しむ食育体験プログラム「伝えよう！浜松・浜名湖地域のふるさとの味」を夏休みと秋・冬に開催。 夏休み：26プログラム実施、406家族1,090名が参加、交流人口1,317人 秋・冬：34プログラム実施、531家族1,358名が参加、交流人口1,609人 (4) 大阪関西万博へ出展し、ふじのくにマエストロシェフ西谷文紀氏が考案した「浜名湖うなぎ 手まり仕立て」300食を提供。また来場者に地域の食の魅力をPRした(来場数：7,200人)。 2 全国の小学生親子を対象に、浜松食材を使ったオンラインキッチンを2回実施。実施後、WEBサイト「はままつフードパーク」の動画コンテンツとして公開。 (第1回)9月23日、定員30組、申込331組 (第2回)11月15日、定員30組、申込64組(参加費1,100円)	引き続き、地域の食の魅力向上を図るとともに、その魅力を発信する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・6次産業化やブランド化を目指す事業を助成し、浜松産農林水産物・食品の付加価値向上を図ることができた。2026年度は、付加価値向上をさらに推進するため、従来の補助事業に変えて、他産地と差別化できるブランド力のある農林水産物やその加工品の開発を助成するほか、気候変動に適した熱帯作物の産地化を目指し新品目の試験的な栽培にかかる費用を助成する。 ・海外販路拡に向けて、同一国でフェアを継続実施することで、地元住民の浜松産農林水産物・食品に対する認知度向上を図ることができた。引き続き、販路拡大に向けて輸出の可能性を検討するとともに、輸出に意欲のある事業者に対しては、見本市への出展を助成し支援する。 ・食と農の地域ブランド推進事業では、JAL機内食事業や各種イベントへの出展、Instagram「はまのう」による情報発信により農林水産物の認知度向上・販路拡大を図った。引き続き、当地域の食の魅力の向上を図るとともに、積極的なPRを行い、市内外・国内外へ認知度を高め、本市農林水産物の活性化に繋げる。 ・Instagram「はまのう」や各種イベント実施による情報発信により、フォロワー数と浜松パワーフード宣言者数は着実に増えてきている。特に「はまのう」はフォロワー数が1万人を超え、浜松産農林水産物の情報発信に大きな効果が見込まれる。2026年度も情報発信を継続し、浜松産農林水産物の認知度向上等により浜松市農業振興ビジョンに掲げる「もうかる農業の実現」に繋げる。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		林業振興課
	01	04	01	02	02	

政策
農林水産物の販売力強化

政策の内容

消費者ニーズを的確に把握し、マーケティング戦略を持った農業者を育成します。
6次産業化やブランド化による付加価値の向上や海外輸出等を含めた販路拡大のための支援、消費者に選ばれる安全・安心な農林水産物の販売力強化に努めます。
林業では、FSC森林認証を効果的に活用し、消費者の選択的購買を促すことで他地域材や外国産材との差別化を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
農林水産物の ブランド化	浜松産の農林水産物はブランドとして評価されていると感じますか。	3.22	3.22				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

「浜松市森林・林業ビジョン」に基づき、方針のひとつである「地産地消の推進」を図るため、天竜材(FSC認証材)を活用した住宅への助成や非住宅の木造・木質化への助成を進めている。
加えて、ビジョンの戦略である「“育てる林業”から“売る林業”への進化」に基づき、大都市・大企業連携の推進による地産外商を図るとともに、林業イノベーションを加速させることで「儲かる林業」の実現を図っている。
本市の林業は、全国的な傾向と同様に外国産材との競争力の低下や低い生産性、高い労働災害率、遅れているDX化等といった林業特有の課題があり、この解消が喫緊の課題である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	128,789				
決算	70,357				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	2.7				
会計年度任用職員	0.6				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
森林啓発・林業 振興強化支援事 業(負担金)	森林・林業の啓発及び活性化に向け、浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会や静岡県山林協会、 県立森林公園等の関係団体に負担金を支出する。	8,931
		8,927
天竜材の家百年 住居の助成事業	市内で生産・加工された天竜材(FSC認証材)を一定量以上使用する木造住宅の建築主を支援す る。	78,330
		36,319
天竜材めくもり空 間創出事業(補 助金)	市内で生産・加工された天竜材(FSC認証材)を使い非住宅建築物の木造・木質化を行う施主を支 援する。	25,000
		10,865
森林活用等都市 間連携事業	天竜材(FSC認証材)の販路拡大に向け、首都圏の大都市等との連携を進める。	951
		516
FSC認証材利用 拡大推進事業	セールスミーティングの開催や木材展示会への出展を行う。	7,460
		7,066
天竜林業イノ ベーション推進事 業	市内林材業関係者のスキルアップを目的とした「天竜林業イノベーションスクール」を開催する。	4,850
		4,558
林業成長産業化 推進事業(補助 金)	林業・木材産業の成長産業化のため、天竜材の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通を 目的とした事業に対する支援を行う。	2,584
		1,441
森林認証推進事 業	FSC森林認証の更新及び面積拡大を図るとともに、市民等への認知度向上を図る。	683
		665

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
FSC森林認証面積(ha)	FSC森林認証面積 (天竜林材業振興協議 会で認証された年度末 の面積)	持続可能な森林経営・管理の実績を測る指数であり、実績値の増加により、木材生産の推進(FSC認証材生産量)に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	50,400	50,700	51,000	51,300	51,600
			実績値	49,859	50,115				
			達成率	-	99%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
FSC認証材生産量 (千m ³ /年)	本市におけるFSC認証材の(丸太)生産量	本政策の内容に関し、FSC認証材の生産量増加を図る必要があることから本指標を設定した。この指標の増加により、「儲かる林業」の実現につながることを見込んでいる。	目標値	-	151	159	167	175	183
			実績値	57.3	2026年 9月確定				
			達成率	-	-				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
年間木材生産量 (千m ³ /年)		素材生産量調査(県実施) における木材生産量	実績値	101.6	92.8					257.2
			達成率	40%	36%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山村漁村振興が図られている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)	森林の保全や市民の森林の理解を促進することで、流域間の森林・林業を活性化させるため、森林・林業関係団体の支援を行った。 天竜流域林業活性化センター、静岡県立森林公園運営協議会、奥浜名自然休養林保護管理協議会、静岡県山林協会、みなと森と水ネットワーク会議、静岡県水資源造林協議会、浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会	各負担金支出団体の連携や情報共有を図りながら、事業の方向性や内容について積極的に関与を強めていくことで本市の林業振興に資する事業を推進する。
天竜材の家百年住居の助成事業	住宅でのFSC認証材利用に対して助成することにより、FSC認証材の利用促進及び需要拡大を進め、林業・木材産業の振興を推進した。 また、FSC森林認証の認知度向上や持続可能な森林経営・管理の実現を推進した。 実績: 90件	FSC認証材の利用拡大のため、市民に対して本事業の周知を図る。 住宅でのFSC認証材利用に対して助成することにより、FSC認証材の利用促進及び需要拡大を推進する。
天竜材ぬくもり空間創出事業(補助金)	非住宅建築物、特に多くの市民の目に触れる商業施設等への効果的な木材利用を後押しすることで、天竜材(FSC認証材)全体の利用拡大を図った。 実績: 11件	FSC認証材を一定量以上使用して非住宅建築物等の木造・木質化等を行う施主を支援することにより、FSC認証材の利用拡大を推進する。
森林活用等都市間連携事業	首都圏等の大都市における天竜材の販路拡大のための連携協定の締結を目指し、各種イベントに参加した。 ・武蔵小杉駅前優しい木のひろば ・なかのエコフェア2025 ・ちいき百貨店2025 ・みつける・みつかる木のひろば	天竜材(FSC認証材)を連携先の都市等で活用してもらい普及することによって、更なる天竜材の活用に繋がり、林業の活性化が図られるため、情報収集をしながら大都市等での天竜材(FSC認証材)利用に向けて調整を進める。
FSC認証材利用拡大推進事業	1 大手企業連携推進事業 市内事業者とともに川崎市でのビジネスマッチングに参加、市外企業等の天竜材利活用を推進 2 FSC認証材普及啓発推進事業 ノベルティ(浜松マグネット等)購入 3 木材関連展示会出展事業 ジャパンホームショーに浜松市のブースを出展	市内外への天竜材(FSC認証材)の効果的な発信により、地産外商を推進する。天竜材(FSC認証材)認知度の向上、活用の増加による林業の活性化を図る。
天竜林業イノベーション推進事業	・時期／令和7年2月～8年1月の全8回(令和6年度は2回実施) ・参加者／森林組合及び木材生産事業者、自伐林家、製材事業者等 ・内容／天竜美林・天竜林業・天竜材等の認知度向上やブランディング、地域内外の販路開拓、新たな収益事業の確保、経営管理能力の醸成、業務のDX化、地域事業者連携等を軸に据え、異業種のプロを招聘した上で、座学及びワークショップを実施した。	「儲かる天竜林業」への進化には林業関係者のスキルアップ等が必要である。「林業イノベーション」を加速させ、他地域に負けない「儲かる天竜林業」の実現を図る。
林業成長産業化推進事業(補助金)	市内のFSC森林認証取得者が行うFSC認証製品の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通に係る経費に対して、補助金を交付した。 ・測量強化対策事業 ・小規模向け森林管理GISデジタル技術活用 ・森林情報整備事業	FSC認証製品の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通に対して支援し、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大を推進する。
森林認証推進事業	FSC森林認証の更新・拡大のため、本地域での認証取得者である天竜林材業振興協議会(市、県、国、市内森林組合等で組織)を支援した。	FSC森林認証の適切な更新及び認証面積の拡大を図り、引き続き、本市の森林・林業施策の核としてFSC森林認証を活用する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)では、引き続き各負担金支出団体との連携や情報共有を図り、市として積極的に関与することで林業振興に資する事業を推進する。負担金の効果を最大限発揮するため、負担金額の算定等の見直しを検討する。

天竜材の家百年住居助成事業及び天竜材ぬくもり空間創出事業(補助金)については、申請件数が減少傾向にあるという課題を踏まえ、FSC認証材の利用促進及び需要拡大にむけて申請件数を増やすための制度改革を検討し、年間木材生産量増加につなげる。

森林活用等都市間連携事業については、事業の進捗はおおむね順調であった。引き続き情報収集を行い、FSC認証材の連携先都市等での普及につながるような取組を検討する。

FSC認証材利用拡大推進事業については、一過性のPRで具体的なビジネスにつながっていないため、商談機会の拡充を図ることとFSC認証材の地産外商、利用拡大推進につながる施策を検討する。

天竜林業イノベーション推進事業については、事業の進捗はおおむね順調であった。スクール生のアクションプランについてより深い知識の習得と目標達成を支援し、儲かる天竜林業の実現に寄与する。

林業成長産業化推進事業(補助金)については、引き続きFSC認証製品の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通への効果的な支援を検討する。

森林認証推進事業については、指標の進捗はおおむね順調であった。FSC認証材の市民の認知度が低調であるという課題を踏まえ、流通量増加や販路拡大等に繋げるための効果的なPRを検討する。